

耕畜連携作物に

登録品種 海外持出禁止
(公示(農林水産省HP)参照)

「高消化性(bmr-18)」スーダン型ソルガム

飼料と線虫抑制

きゅう しゅう こう さん ごう

晩生品種

九州交3号

—牛が消化しやすく、出穂前収穫でも多収な晩生品種—

—サツマイモネコブセンチュウに高い増殖抑制効果があり、緑肥利用にも期待—

九州交3号

SSR4(民間種苗会社品種)



写真1 2009年8月3日における「九州交3号」(左側)と「SSR4」(右側)の草姿
両品種は同一日に播種(2009年4月30日、九州沖縄農業研究センター)
「九州交3号」と「SSR4」の生育ステージは、それぞれ出穂始と乳熟期

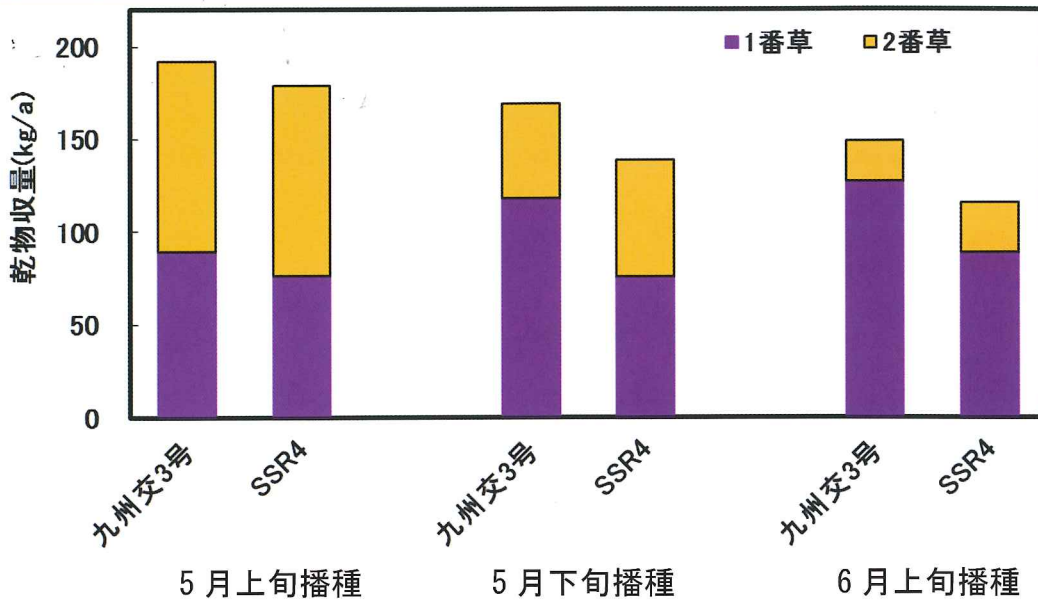
・栽培適地

東北南部～暖地

・播種量(10a当り)

2～3kg

九州交3号の収量

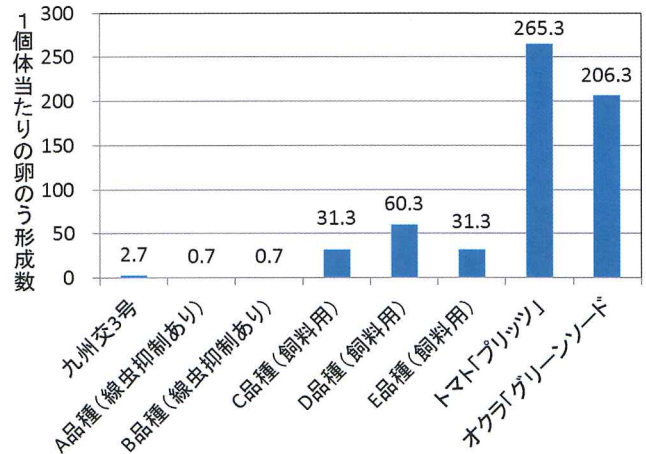


- ・晩播では、1番草の出穂が遅くなります。
- ・そのため、晩播では、「九州交3号」の1番草の乾物収量は「SSR4」より多収です。

センチュウ抑制は



「九州交3号」はAおよびB品種と同様にサツマイモネコブセンチュウに高い増殖抑制効果があることが明らかになり、野菜畑の緑肥利用にも期待できます(右図)。



春野菜 → 休 閑 → 秋野菜

春野菜 → 九州交3号 → 秋野菜

(地上部は、飼料利用、地下部で線虫密度の低減 ⇨ 耕畜連携で飼料増産)

【育成機関】問い合わせ先:

農業・食品産業技術総合研究機構

九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

TEL 096-242-7754

FAX 096-242-7754